

進取の精神チャレンジプログラム 「地方創生活動部門」



2次審査会 (公開プレゼンテーション)

奄美大島

種子島
屋久島

日時: 2019年6月19日(水) 16時30分～1.5時間程度

場所: 学習交流プラザ2階 学習交流ホール

夏休み自由研究お助け隊! ~ウミガメ
と吹上浜のなかまたち~

(鹿児島大学ウミガメ研究会)

こんなところに口腔がん!?
~世界一受けたいがん検診~

(口腔外科ゼミ)

錦江町子ども未来作りプロジェクト (仮)

(KG base (錦江町学生基地))

三島村を国際観光拠点に! —— 鹿大
生による魅力発掘と多言語発信 ——

(薩南諸島勉強会)

喜入中名の空き家を活用した地域住民と
学生による地域活性化プログラム

(チーム中名)

2019年度 進取の精神チャレンジプログラム「地方創生活動部門」の
2次審査会(プレゼンテーション)を公開で開催します。
本プログラムに関心のある方、次回、取り組んでみようと思われる方など、
自由にご参加ください。



学生が自分たちで企画した地域貢献
プログラムを提案・発表します。
地域ファースト!



【問合せ先】
研究推進部 社会連携課 産学・地域連携係
TEL 099-285-7104

2019年度 鹿児島大学 進取の精神チャレンジプログラム「地方創生活動部門」 2次審査会（公開プレゼンテーション）

No	グループ名	プログラム名	プログラム概要（「企画書」概要欄を転記）	連携協働先
1	鹿児島大学ウミガメ研究会	夏休み自由研究お助け隊！～ウミガメと吹上浜のなかまたち～	本プログラムでは、夏休みの期間に小学校高学年を対象とし、私たち鹿児島大学ウミガメ研究会(以下、「当団体」とする。)が夏休みの自由研究をサポートするイベントの企画、運営を行う。対象を小学生とした理由は、小学生は様々なことに興味を持ちやすい、未来を支える年代であり、このイベントをきっかけに今後のウミガメをはじめとする海の生き物や、海との向き合い方が変わる可能性が高いと思ったからである。 参加者は当団体が新聞等で公募するものとする。当団体はテーマの設定から、ウミガメや海について学ぶフィールド調査、課題のまとめまでのアドバイスをを行う。企画の進行にあたっては参加者の自主性を尊重し、あくまでも当団体はサポートに徹する。この企画の最大の特徴は、ただ単に課題を進めるのではなく、ウミガメをはじめとした自然の要素を実際に目で見て体験する機会を提供できるという点にある。フィールドとしては当団体が例年調査フィールドとしている鹿児島県日置市の吹上浜(伊作川～金峰境までの2.5kmの区間)の一部区間とする。企画を進めるにあたって、長年にわたって子供向けのイベントを行っている、いおワールドかごしま水族館などの外部団体と協力を依頼する。	いおワールドかごしま水族館展示課
2	口腔外科ゼミ	こんなところに口腔がん！？～世界一受けたいがん検診～	高齢者の多い地域や、高度医療機関のない地域に行き、その地域のイベントに参加させてもらう。そこで行われる口腔外科のがん検診と合わせ、ポスターやパンフレットなどを用いた口腔がんについての説明や広報活動を行うことで、好発年齢、リスクファクター、気を付けるべき口腔内症状を広く普及していく。	鹿児島県歯科医師会
3	KG base (錦江町学生基地)	錦江町子ども未来作りプロジェクト(仮)	現在日本全体で高齢化・過疎化が進むなかで、鹿児島県内においてもこの問題の対策を講じていく必要がある。私達は鹿児島県内で生産人口42位/43位中、老年人口42位/43位中である(平成29年10月現在)錦江町に注目した。 この企画は、地域に愛着を持つとともに、自己の将来に夢を描け、さらにそれを実現できる能力を備えた次世代の地域の担い手育成と「錦江町に夢を育む文化と風土を創ること」を目的としている。錦江町の子どもたちが、夢を持ち自分の将来に向けて動き出し、5年後、10年後に錦江町の中から地元を盛り上げたいという人や錦江町を残していきたいという新しい錦江町を創ることのできる人材を輩出するために行うものである。	・錦江町まち・ひと・『MIRA』創生協議会 ・産学・地域共創センター連携推進部門
4	薩南諸島勉強会	三島村を国際観光拠点に！——鹿大生による魅力発掘と多言語発信——	近年、我が国の日本人国内旅行市場は頭打ちである反面、訪日外国人旅行市場は急速に拡大している。三島村においても、東京オリンピック・パラリンピックの際にギニア共和国のホストタウンとして登録・認定されていることもあり、多数の外国人来島者が見込まれる。一方、インターネットやパンフレット上での本村に関する外国語の情報は限られている。したがって、英語をはじめとする鹿児島県への訪問者の多い諸外国語や、ギニア共和国の公用語であるフランス語での情報発信により、外国人来島者の利便性が向上して、予測されるトラブルの回避や、潜在的な外国人来島者の獲得機会につながると考えた。また、本学の留学生を含む学生が担当することにより、若年層や外国人の視点に立った魅力の発掘・発信ができる。	・三島村役場定住促進課 ・産学・地域共創センター連携推進部門 ・共通教育センター外国語教育部門
5	チーム中名	喜入中名の空き家を活用した地域住民と学生による地域活性化プログラム	喜入中名町の地域活性化のために、空き家を用いて夏休みに期間限定のイベントカフェを行う。	喜入中名町住民

※当日の発表順は、別途、抽選により決定しますので、掲載順とは異なりますことを申し添えます。